

## ハイライト:

- 青島レクリエーションを実施しました(3面)
- 基礎学力向上のため、課外講座として、「理科基礎ゼミ」「数学基礎ゼミ」「英語基礎ゼミ」を開講しました(4面)



教育学部 青島レクリエーション 集合写真

# 宮崎国際大学教育学部ニュースレター

## 教員採用試験の早期化、複数受験への対応について

副学長・教育学部長 福田 亘博



現在、全国の教職課程を持つ大学が直面している標記の課題について、本学の取り組みをお伝えします。多くの方がメディアを通じて既に認識されているかと思いますが、最近、全国私立

大学教職課程協議会(全私教協)及び九州地区大学教職課程研究連絡協議会(九教協)においても以下のことが紹介され、①～③についてほぼ決定したようです。したがって、本学としても、次年度以降の教職課程カリキュラムの見直しと教員採用試験対策講座の対応を迅速に進めたいと思います。

- ① 教員採用試験の前倒し実施: 次年度は5月11日を中心に試験を前倒して実施(今年度は5月: 4県、6月: 34県、7月30県実施を、5月11日を中心に実施)。
- ② 複数受験の機会の確保: 各県の教育委員会が協力し、複数受験を可能とするように調整。
- ③ 3年生の教員採用試験の受験: カリキュラムの半分程度しか履修していない学生の受験は様々な課題が伴いますが、文部科学省は実施するように通達・実施。

④ 統一試験の検討: 各県において作成している試験問題作成の負担軽減を目的とした統一試験の導入について文部科学省は以前から考えており、今回の試験の早期化等において提案(導入される場合は令和9年度実施の可能性)。

以上のような教員採用試験の早期化や複数受験が必要とされている背景には、教員採用試験の競争倍率の低下があります。しかし、一方で、九教協の講演では、⑤少子化の問題も取り上げられました。ご存じのように、少子化により、県によってはすでにクラス数減に転じています。その結果として近々には教員採用試験における競争倍率の増加が始まるとの説明で、しかも5年以内に増加するとの予測です。

このように、ここ数年以内には教員採用試験の風景が大きく変わるものと考えられますが、本学では①～⑤のようないずれの状況になっても、学生が教科教職ゼミや教員採用試験対策講座を受講すれば今までと同様に現役で合格できるように準備しておきたいと思います。

今後とも、引き続き皆様の一層のご支援・ご協力をお願いします。

## 教員採用試験特別対策講座について(今年度の対策講座の予定等)

学生教職支援センター長 有嶋 誠



学生教職支援センターは「教員採用試験のための合格支援プログラム」として、学外講師と学内教員等による特別対策講座を実施しています。今年度は文部科学省の通知により、教員採用試験の早期化と複線化による変更が見られます。特に、令和7年度の一次試験は文部科学省が5月11日を標準日と指定しましたので、今年度より1か月間ほど早まる予定です。また、通知を受けて九州でも「3年生の前倒し試験」を3県が実施します。本県でも3年前倒し試験が予想されるため外部講師の特別対策講座は、前倒し試験の受験を希望する2年生も受講を可能とする予定です。

なお、対策講座では一次試験対策として「教職教養」と「専門教養」、二次試験対策として「面接」「模擬授業」「グループワーク」などを重点的に指導します。

### <教員採用試験のための合格支援プログラム>

講座名	対象者	期間	回数(1回90分)	主な内容
学外講師対策講座	2・3年生	8月～	130回実施予定	一次・二次試験対策
対策講座「基礎Ⅰ」	1年生	10月～	17回実施予定	一次試験対策
対策講座「基礎Ⅱ」	2年生	4月～	27回実施予定	一次試験対策
対策講座「応用Ⅰ」	3年生	4月～	60回実施予定	一次・二次試験対策
対策講座「応用Ⅱ」	4年生	4月～	40回実施予定	一次・二次試験対策

## 卒業した先輩からのメッセージ

## 今の時間を大切に

宮崎市立江平小学校 教諭 園田 正彦  
(令和6年3月宮崎国際大学教育学部卒業)



私は現在、4年生の学級担任として38名の子どもたちの指導にあたりています。4月からの教員生活は、右も左も分からない状態からスタートしました。2か月経った今でも、先生方に助けられながらなんとか毎日を生き抜いています。忙しい毎日ですが、心の支えになるのは子ども達の存在です。素直で優しい子ども達の成長を間近で見ることができる“教師”ほど感動的で魅力的な仕事は無いと思います。

学生の皆さんに伝えたいことは、今の時間を大切にしてほしいことです。社会に出ると、家族・友人・自分にあてる時間が本当に少なくなります。学生のうちにやっておくべきことを考え、行動に移すことが大切だと思います。それは、家族との時間をつくること、友人との思い出づくり、自分の将来に向けた学びの時間を設けることかもしれません。今、自分がすべきことは何なのかをしっかりと考え、有意義な学生生活を送ってほしいと思います。

## 情報機器活用の学びを活かしたICT教育

宮崎市立広瀬西小学校 教諭 森川 友梨奈  
(令和4年3月宮崎国際大学教育学部卒業)



私は、4年後期にExcelやWord、PowerPoint等の使い方について学びました。そのことで、特に学校現場で活用できている場面を2つ紹介します。

1つ目は、ExcelやWordを使って時間割や児童の名簿、学級通信を作成したり学級経営に必要な書類を作成したりしていることです。私は、大学時代にExcelの計算機能やシンプルで整理しやすい機能を学んだことで様々な仕事に効率的に取り組むことができるようになりました。

2つ目は、PowerPointを使って授業資料を作成し、授業で活用していることです。学校現場には、視覚優位・聴覚優位など様々な児童がいます。どの児童にもより学びの深い授業を提供するためには、様々な技能を身につけておくことが必要だと感じています。

学校現場には、様々な業務があります。大学時代のうちにパソコンを駆使できるようになると児童の主眼的・対話的で深い学びの実現につながります。皆さんもぜひ、「今だからこそできること」に取り組んでください。応援しています。

## 大学での学びを活かして

山田中央保育所 保育士 日高 紗希  
(令和5年3月宮崎国際大学教育学部卒業)



私は現在、4・5歳児クラスの担任をしています。悩んだり反省したりすることも多くありますが、先輩方に相談したり、アドバイスを頂いたりしながら日々学びを深めています。子どもから「これしたい！もう一回やってみたい！」と“やりたい”という意欲を引き出せた時や子どもの“できる”が増えた時に子どもたちの成長を感じ、この職業に就いて本当に良かったなと思えます。

学生時代を振り返って思うことは、実践講座や授業の中で手遊びや模擬保育をやっておいて良かったということです。ちょっとした空き時間や雨の日の室内遊びで「何しようかな・・・」と迷った時、学生時代に発表し合った手遊びや模擬保育の内容を思い出して実践しています。学生の中に、実践講座や保育製作ゼミなどに積極的に参加したり、自分で調べたりしながら、様々な発達段階に合わせた保育活動のレパートリーを増やしておく現場で絶対役に立つと思います。

後輩の皆さんも日々の学びを大切にしながら充実した学生生活を送ってください。応援しています。

## 低学年の指導にあたって大切にしていること

都城市立五十市小学校 教諭 嶋木 美仁  
(令和4年3月宮崎国際大学教育学部卒業)



私は現在、都城市立五十市小学校の1年生32名の学級担任をしています。私は、今年度で2度目の1年生の学級担任です。

低学年の指導では、「子どもへの接し方」を意識しています。同じ小学生でも1年生から6年生は、体格だけでなく、児童の雰囲気や話す速さ等全てが異なります。低学年の児童と会話をする時は、表情豊かにゆっくりとした速さで、擬音語や動作を用いたりしています。大学で、幼稚園教育実習で活用できる絵本の読み聞かせや手遊びを沢山経験させていただいたので、楽しみながら会話しています。

また「保護者への向き合い方」も大切にしています。大学で、幼稚園免許・保育士資格取得のために保育の選択科目も多く受講しました。保護者の方が感じる不安や悩みに対する対応の仕方や連絡帳への返信の仕方等を学んでいたため、保護者に寄り添う考え方や声かけが悩まずできます。

低学年の指導は、「見通しをもって行動すること」が鉄則です。どのように指示をするのか、何を先にさせるべきか常に頭をフル回転です。いつでも低学年の指導に携われるように、学生時代から「〇日提出レポートだから、1週間前にはとりかかろう」等見通しをもって行動する特訓をしておくといいかもれません。

## 青島レクリエーションを実施しました

宮崎国際大学では、新入生を対象として日帰り研修の**青島レクリエーション**を実施しています。この研修では、3年生AAが中心となり、大学生生活の過ごし方等のアドバイスや親睦活動を行いました。

AA(アドバイザー・アシスタント)は本学の学生が先輩として相談相手となり、アドバイザー(個別指導教員)とともに新入生を支援する制度です。

教育学部3年生AA 青木 美鈴(宮崎北高校出身)、藤田 梨杏(日向高校出身)、淵脇 涼太(宮崎南高校出身)、岩切 友敬(宮崎北高校出身)、田島 ひかる子(宮崎第一高校出身)、田原 杏夏(宮崎北高校出身)

私たちが1年生の時はコロナの関係で、この青島レクリエーションが開催されませんでした。今回初めてAAとして青島レクリエーションに参加することができ、とても嬉しかったです。このようなレクリエーションがあることで、先輩後輩の交流や学部間での交流を持つことができ、1年生のこれからの学生生活もより良いものになるのではないかと期待しました。

あまり時間がない中、小幼コース・幼保コースに所属する教育学部3年生AAはそれぞれ力を合わせ、1年生が楽しめるようなゲームの構成について考え、1年生の悩みを聞く機会を設定することとし、その準備をしました。

当日、レクリエーションで行った玉入れやクイズでは、留学生もいる中ゲームを進めていくことは言語の壁もありとても難しかったです。しかし、国際教養学部AAの方達が率先して説明をしてくれたり、教育学部AAは簡単な単語やジェスチャーを使ったりと、全員が楽しめるように工夫をして行うことができました。

借り物競走は、先生を交えて行ったのですが、学生と先生との関わりがあまりなかったことから、教師と学生間での深い交流には繋がりませんでした。先生との会話を中心としたゲームを先に行えば、後半の活動でも先生と学生の距離が縮まることに繋がったのではないかと反省しました。

教育学部3年生AAとして一番印象に残ったことは、最後に行った綱引きです。元々予定には組み込まれていませんでしたが、急遽行うことになり、まず、1年生同士の学部対決を行いました。その際にAAを含めた1年生全員で円陣を組み、団結力を示しました。1年生同士の対決が1勝1敗に終わった後、AA同士の綱引きを行いました。1年生と先生方が全力で応援してくださり、勝つことができました。1年生全員が自分たちのことのように喜んでくれて、1年生とAAの距離が縮まったように感じました。

1年生の皆さん、青島レクリエーションを楽しんでもらえましたか。実は少し前から皆さんが楽しめるような計画を立て、準備してきました。私たちの愛が届きましたか？今後も、様々な場面で皆さんと関わることがあると思います。AAではない先輩方にも気軽に話しかけて、学部全体で仲良く充実した大学生活を送っていきましょう。



後列左から青木、田原、田島、藤田  
前列左から淵脇、岩切

## 教育学部教員より 自然を感じられる豊かな心を

教育学部准教授 満行 知花



今年度、教育学部に着任いたしました満行知花と申します。専門は生態学・集団遺伝学で、これまでは理学分野の研究・教育を行ってきました。前任の田川先生に代わり、主に環境の授業を担当します。

着任して2ヶ月が過ぎましたが、ちょうど今日、授業のプリントを取りに私の研究室に来た受講生が、「わあ！きれい」と声をあげました。私の研究室の大きな窓から見える木々の美しさに驚いたようです。私も、このような緑に包まれた大学で環境の授業ができることをとても嬉しく思っています。

大人になると砂場や草花で遊ぶこともなくなり、自然の美しさ、不思議さに心を動かされる機会も少なくなるかもしれません。子どもは、大人が見逃すような小さなことに

気づき、感動し、そして疑問を持ちます。「髪の毛はどうして生えるの？」「お星さまはどうして夜出てくるの？」「秋になると、どうして葉っぱが赤や黄色に変わるの？」みなさんは子どもの頃、どのような「不思議」を持っていましたか？みなさんが先生になった時、これらの質問にどのように対応しますか？

私の授業の中では、子どもの頃の気持ちを思い返せるような、自然と触れ合う体験を数多く取り入れていきたいと考えています。そして子どもの頃に感じた自然の「不思議」についてもう一度、考えてみてほしいと思っています。多くのことを学んできた今なら、きっと分かることがあるはずですが、それらは「不思議」に溢れている子どもたちと接する際に、きっと役立つと思っています。

(担当科目：環境と科学、幼児と環境、保育内容指導法(環境))

〒889-1905 宮崎県宮崎市清武町加納丙1405番地  
電話:0985-85-5931 FAX:0985-84-3396



国際教養学部 比較文化学科  
教育学部 児童教育学科

## EVENT情報

### オープンキャンパス

開催日：7月14日(日)、8月11日(土) 10:00-15:00  
内容：学部紹介、体験授業、学食体験、交流カフェ、保護者様向け講座 など

### 週末キャンパス見学会&相談会(受験対策講座)

開催日：8月24日(土)、9月28日(土)、10月26日(土)、11月30日(土)  
2025年1月25日(土)、2月15日(土) 10:00~12:00  
内容：学部紹介、入試相談、受験対策講座 など

### 春のミニオープンキャンパス

開催日：2025年3月23日(日) 9:30-12:00  
内容：学部紹介、交流カフェ、個別相談 など

個別の見学会・相談会も受け付けております。ご希望の方は事前に入試広報部までご連絡ください。

オープンキャンパス・週末  
キャンパス見学会&相談会  
についてはこちらで詳細を  
ご確認ください。



## 入試広報部からのお知らせ

お問合せ先

TEL 0120-85-5931  
MAIL admissions@miu.ac.jp

## LINE相談受付中

「入試制度について知りたい」など、見学会に行くことが出来ない、という高校生・保護者の方のために、公式LINEアカウントのチャット機能をオープンしています。お気軽にお問合せください。



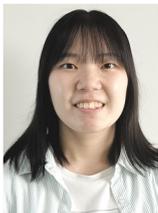
QRコードを  
読み込んで  
お友達追加!



教育学部では今年度、基礎学力向上のため、課外講座として「理科基礎ゼミ」「数学基礎ゼミ」「英語基礎ゼミ」を開講しました。

## 学び合いを大切に

教育学部3年 藤原 百花 (宮崎西高校出身)



理科基礎ゼミは、教育学部の1年生全員、2~4年生の幼保の学生を対象としており、4クラスで90名程度が参加しています。理科の基礎的な問題集を使用し、問題を解いて、4、5人のグループで説明を考えた後に、全体場で学生同士による

解説を行っています。そして、3年生のアシスタントが、單元ごとの豆知識を作成して教えており、他教科の質問を受けたり、学生生活で分からないことの相談にも乗ったりしています。

はじめは、教えることができるのか不安でしたが、学生の皆さんが積極的に質問や話してくれるので、楽しく活動することができています。問題を解いたり、豆知識を作成したりする中で、私自身も学ぶことが沢山あり、とても貴重な時間となっています。この理科基礎ゼミでは、学生同士の学びを大切にしています。そのためにも、もっと学びたいと思えるような豆知識を考えたり、楽しい雰囲気づくりをしたりすることを心がけています。

## 再挑戦&新たなスタート

数学基礎ゼミ担当 上川路 伸一



「数学基礎ゼミ」の目的は、① 義務教育における数学の再学習によって基礎学力を中心に応用・発展力も身につけさせる。② ミス無く着実に正解を導き出す「慎重さ」や論理的に思考を進める「論理性」、粘り強く課題に取り組み解決しようとする「忍耐力」、素直に従い、自己伸長を図る「柔軟性と達成感」などを副次的に培っていくということです。

また、これらの目的の下、ゼミを受けるに当たっての心構えは、① 「自分は必ず伸びる!」を信じる(全学生がさらに伸びる可能性を秘めている)、② 自分を絶対的に診る(他の人と比較せず自分自身の伸びに着目する)、③ 集中して取り組む(効率的な学習に努める)ということです。

さらに、ゼミの進め方は、問題の解決のポイントやケアレスミスを防ぐ工夫などを示しながら、義務教育等で学習する数学の全単元に挑戦させ、毎時間、ゼミの後半に理解度把握テストを行って効力感を高めていくというものです。(各学期末には、総括的評価テストを実施します)

「数学基礎ゼミ」は、数学への苦手意識の克服や、学力のさらなる向上、人間力の育成によって、教員を希望する学生はもちろんのこと、公務員職、企業等を希望する学生にとっても、仕事に活かされる社会人としての礎を築く新たなスタートになります。